

Poo-1 グランプリ scene0 「出会い」



入学式の当日。わたし、宇和風カエデ（うわかぜ かえで）は軽快な足取りで通学路を走る。

どこにでもいるごく普通の女の子。良い意味で言うと少女漫画のヒロイン。悪く言うと単なる一般庶民。

そんなわたし自身ここに入学できるなんて思いもしなかった！勉強も出来ないしお金もあるほうじゃない。

なのに何故入学できたのか・・・正直言うと自分でもわからない。

筆記試験は散々だったと思う。半分以上は選択肢だったから奇跡的に全部あたったのかな？

面接は何を言ったか記憶が無い。後半は瞳孔を開いたまま試験官先生の質問にははいはい応えてただけな気がする。

推薦入試だったとはいえ、入学に加えて特待生として学費も免除という高待遇に、お母さんは3日間寝込んだほどの衝撃だった。

些細な疑問は置いておいて、とにかく喜びが収まらないわたしは、おしとやかに歩く同じ制服を尻目に、新しいおもちゃをもらった子供のようにはしゃいでいた。

そして案の定人にぶつかる。食パンを咥えてないだけまだ現実的なオチだけど。当たりが弱いわたしだけがすっころんだ。

「大丈夫？」



黒いすらっとした長髪の女の人。細くしなやかな指がこちらに差し出される。
わたしは謝るのも忘れ、その澄んだ瞳に吸い込まれるようにただただ呆然としていた。

この学校に入りたかった第1の理由。

『八つ宮（やつみや）先輩・・・。』

「え？」

中学生のころ、時折目に入っていたお姉さま。八つ宮もみじ（やつみやもみじ）。
こっそりあとをついて行って、この学校の生徒であることを
知ったのがきっかけで、わたしは国立ではなく私立のお嬢様学校に
狙いをつけたのだ。

「知ってくれてたの。うれしいわ。」

口角を緩やかに上げ、嫌味の無い爽やかな笑みをする先輩。
もうこの仕草だけで飯3杯はいける気がする！（この辺が庶民

「手をとって。」

言葉すくなな声に導かれるよう手を握る。細いけど張りのある手。

『あ』

「？」

『あ、あああ、ありがとうございます！わ、わたし、わたくし、宇和風カエデ（うわかぜ かえで）と言います！
今日から1年生として頑張りますので・・・！』

立ち上がりざま、わけのわからない自己紹介を始めるわたしにきょとんとする先輩。

「ああ、あなたが宇和風カエデさんね。」

『え？』

想定外の返しに再び固まるわたし。先輩がわたしを知っている・・・？

「入学式が終わったら又会いたいから、教室で待っててくれるかしら。」

『あ、は、はい・・・！』

喜び以上の喜びと、自分の子供じみた今までの挙動に恥ずかしくなり、
わたしは先輩の背中を見ながら俯き気味に校門へ向かった。

予告

お嬢様学校に入学した宇和風カエデ（うわかぜかえで）。そこに現れた憧れの先輩 八つ宮もみじ（やつみやもみじ）に連れられた先で PO（ピーオー）のユニフォームを着せられることになったのだが・・・

Scene1 「身体測定」



無料公開予定！っていうかこの作品掲載から明日か明後日くらいに出すつもりだよ（^o^）

ガララさん（<https://fantia.jp/fanclubs/3099>）との共同コラボ、
「poo-1 グランプリシリーズは」 Fantia にて連載中！
詳細はかめべやファンクラブで！（<https://fantia.jp/kamebeya>）

かめべやメインサイト

=<http://kamebeya.o0o0.jp/index.html>

かめぶろ（ブログ）

=<http://blog.livedoor.jp/kamebeya-blog/>

ピクシブ（イラスト SNS）

=<https://pixiv.me/kamebeya>

かめの部屋（公式ファンサイト）

=<https://fantia.jp/kamebeya>

ふたにゆう（フタナリサイト）

=<http://futanari.crap.jp/index.html>

ツイッター

=<https://twitter.com/kamebeya>

ゲームに関するお話はこちらにどうぞ！

=<http://6303.teacup.com/sumomomomomomo/bbs>